

神戸大学大学院海事科学研究科
博士課程後期課程

〔第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅲ期〕
進学者選考要項
(平成29年10月・平成30年4月・10月進学)

PROSPECTUS
FOR
THE DOCTORAL COURSE

Graduate School of Maritime Sciences
KOBE UNIVERSITY

(Starting in October, 2017/
April, 2018/ October, 2018)

神戸大学大学院海事科学研究科について

海事科学研究科には、博士課程前期課程、博士課程後期課程に海事科学専攻（1専攻のみ）が置かれ、前期課程、後期課程の一貫教育が可能となっています。

なお、海事科学研究科博士課程前期課程を修了した学生は修士（海事科学）の学位を取得できます。また、海事科学研究科博士課程後期課程を修了した学生は博士（海事科学）、博士（工学）又は博士（学術）の学位を取得できます。

海事科学研究科博士課程後期課程の学生募集に関する照会先は次のとおりです。

神戸大学大学院海事科学研究科教務学生グループ（学生担当）

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1

電話 078-431-6225（直通）

海事科学研究科ホームページ <http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/>

神戸大学ホームページ <http://www.kobe-u.ac.jp/>

目 次

平成29年10月・平成30年4月・10月進学

神戸大学大学院海事科学研究科博士課程後期課程進学者選考要項

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	1
4. 選考の方法	2
5. 口頭試問の日及び試験場	3
6. 合格発表	3
7. 進学手続	3
8. 麻しん（はしか）、風しんの感染予防措置	4
9. その他	5

神戸大学大学院海事科学研究科の紹介

1. 海事科学研究科の教育研究の理念	6
2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	6
3. 海事科学専攻の内容	6
4. 博士後期課程教育研究分野、教育内容等 及び特定研究担当教員	7

◎ 添付書類（出願に必要な本研究科所定の用紙一式）

- 進学願書（裏面に履歴書）
- 受験票
- 研究経過報告書
- 研究計画書
- 住所票

平成29年10月・平成30年4月・10月進学
神戸大学大学院海事科学研究科博士課程後期課程
進学者選考要項

1. 専攻及び募集人員

専攻	募 集 人 員		
	平成29年10月進学者 ^(注1)	平成30年4月進学者	平成30年10月進学者
海事科学専攻	若干人	11 人 ^(注2)	

(注1) 平成29年10月進学については、第Ⅰ期のみ募集します。

(注2) 募集人員には入学者を含む。

2. 出願資格

平成30年3月に神戸大学大学院海事科学研究科博士課程前期課程及び本学他研究科の修士課程、博士課程前期課程又は専門職学位課程を修了する見込みの者。

(注) 「平成29年10月進学」志願者は、上記出願資格の「平成30年3月」を「平成29年9月」に読み替えてください。また、「平成30年10月進学」志願者は、上記出願資格の「平成30年3月」を「平成30年9月」に読み替えてください。

3. 出願手続

(1) 出願期間及び出願方法

募集期	出 願 期 間
第Ⅰ期	平成29年7月3日(月)から7月7日(金)まで
第Ⅱ期	平成29年10月23日(月)から10月27日(金)まで
第Ⅲ期	平成30年1月15日(月)から1月19日(金)まで

持参による場合の受付時間は、9:00~12:00、13:00~17:00。

郵送の場合は、出願期間最終日の消印有効とします。また、封筒の表に「博士課程後期課程進学願書在中」と朱書し、「簡易書留」としてください。

(2) 出願書類提出先

神戸大学大学院海事科学研究科教務学生グループ(学生担当)
〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1
電話 078-431-6225(直通)

(3) 出願書類

- (A) 進学願書：本研究科所定の用紙（様式第1号）
- (B) 履歴書：本研究科所定の用紙（様式第2号）
- (C) 受験票（様式第3号）
- (D) 写真：2枚を進学願書及び受験票の所定欄に貼付してください。
上半身・脱帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。
（縦4cm×横3cm）
- (E) 博士課程前期課程（修士課程）の修了見込証明書
- (F) 博士課程前期課程（修士課程）の成績証明書
- (G) 研究経過報告書等
 - (a) 研究経過報告書
A4判の用紙を使用して、和文2,000字程度のもの1部又は、英文1,200語程度のもの1部に本研究科の所定の用紙（様式第4号）を表紙として提出してください。
 - (b) 上記以外の研究発表等の資料があれば提出してください。
- (H) 研究計画書：和文2,000字程度のもの又は英文1,200語程度のものいずれか1部。
どのような分野でどのような内容のことを研究しようとしているかが分かるようにA4判の用紙に記入し、本研究科所定の用紙（様式第5号）を表紙として提出してください。
- (I) 住所票：住所と名前を記入してください。本研究科所定の用紙（様式第6号）
- (J) 返信用封筒：住所と名前を明記し、372円分の切手を貼付した長型3号（縦23.5cm、横12.0cm）の封筒を、1通同封してください。受験票、受験者心得を送付するために使用します。

[注意事項]

- ① 志願者は、進学願書に志望指導教員名を記入してください。志望指導教員は「博士課程後期課程 教育研究分野、研究内容等及び特定研究担当教員」から選択してください。なお、進学願書に志望指導教員名の記入がない場合、出願書類は受理されません。また、志願者は志望指導教員と密接な連絡をとり、研究計画書を作成してください。
- ② 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

4. 選考の方法

進学者の選考は、学力検査及び提出書類を総合して行います。

学力検査は、口頭試問・質疑応答等によって、以下を中心として行います。

- (1) 研究経過報告書の内容
履修に必要な基礎学力を有しているかどうかを検査します。
- (2) 英語の能力（外国の大学を卒業した外国人の志願者については英語及び日本語）
履修に必要な語学力を有しているかどうかを検査します。
- (3) 研究計画書の内容
学位取得に見合う研究計画であるかを審査します。

5. 口頭試問の日及び試験場

募集期	口頭試問の日	試験場	集合時間等
第Ⅰ期	平成29年8月31日(木)	神戸大学大学院 海事科学研究科※	各志願者の口頭試問 の場所と時間は、後日 に別途通知します。
第Ⅱ期	平成29年12月12日(火)		
第Ⅲ期	平成30年2月14日(水)		

※神戸大学大学院海事科学研究科

- ・ 阪神電車にて深江駅下車，南西へ徒歩約10分
- ・ JR利用の場合は，甲南山手駅，摂津本山駅又は芦屋駅で下車，タクシーで約10分

6. 合格発表

募集期	合格発表日
第Ⅰ期	平成29年9月6日(水) 13:00(予定)
第Ⅱ期	平成29年12月22日(金) 13:00(予定)
第Ⅲ期	平成30年3月9日(金) 13:00(予定)

神戸大学大学院海事科学研究科講堂前の掲示板に掲示するとともに，合格者には「合格通知書」を送付します。

また，海事科学研究科のホームページ(<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/>)でも発表します。

なお，電話等による照会には応じません。

7. 進学手続

(1) 進学手続期間・進学手続書類等

「平成29年10月進学者」の進学手続期間は，平成29年9月中旬の予定です。その詳細については，進学手続に必要な書類等と併せて平成29年9月上旬に通知(郵送)します。

「平成30年4月進学者」の進学手続期間は，平成30年3月中旬の予定です。その詳細については，進学手続に必要な書類等と併せて平成30年2月中旬頃に通知(郵送)します。

「平成30年10月進学者」の進学手続期間は，平成30年9月中旬の予定です。その詳細については，進学手続に必要な書類等と併せて平成30年9月上旬頃に通知(郵送)します。

(2) 進学手続場所

神戸大学大学院海事科学研究科事務室

(3) 納付金

区 分		金 額	摘 要
授業料	半期	267,900円	平成29年10月進学者の後期分の授業料については、平成29年10月末日までに納付してください。 平成30年4月進学者の前期分の授業料については、平成30年4月末日までに納付してください。
	年額	535,800円	平成30年10月進学者の後期分の授業料については、平成30年10月末日までに納付してください。 [在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。]

(注) 上記の金額は、平成29年度の例です。

[注意事項]

- ① 次に該当する者は、進学を取り消されることがあります。
 - (A) 虚偽の申告をした場合
 - (B) 上記の進学手続を完了しなかった場合
 - (C) 平成30年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を授与されなかった場合(注) 「平成29年10月進学」志願者は、上記の「平成30年3月31日」を「平成29年9月30日」に読み替えてください。また、「平成30年10月進学」志願者は、上記出願資格の「平成30年3月31日」を「平成30年9月30日」に読み替えてください。
- ② 日本国政府から奨学金を支給されている国費外国人留学生は授業料は不要です。

8. 麻しん（はしか）、風しんの感染予防措置

麻しん、風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、進学後のキャンパス内での麻しん、風しんの流行を防止するため、全ての進学者に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しんと風しんのワクチン接種を、それぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類
- ② 進学年度の過去5年以内に麻しんと風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③ 進学年度の過去5年以内に受けた麻しんと風しんの抗体検査の結果が、「麻しんと風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（5ページ表参照）を有していること」を証明する書類

* ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。

* ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。医療機関等から発行される証明書その他、平成20年4月1日から平成25年3月31日まで実施されたMRワクチンの第3期予防接種（中学校1年生に相当する年齢時）や第4期予防接種（高校3年生に相当する年齢時）に伴う「予防接種済証」でもかまいません。

第3期・第4期予防接種の「予防接種済証」は①の1回分として使用できます。

* 母子手帳も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。既往歴（かかったことがある旨の記載）のみで、診断根拠として確実な検査結果などが記載されていない場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。

* ③では、5ページ表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。

- * ①, ②, ③ の書類の組み合わせ, 例えば麻疹については ①, 風しんについては ③ を提出してもかまいません。
- * 麻疹, 風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず, 病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には, その旨を記載した文書 (医師による証明書等) を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も進学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限: 4月進学者は4月16日(月), 10月進学者は10月入(進)学者健康診断実施日
提出先: 保健管理センター深江分室

麻疹と風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区分	測定方法	判定基準	備考
麻疹	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	3つの測定方法のうち, いずれかで陽性
	PA 法	128 倍以上の陽性	
	NT 法	4 倍以上の陽性	
風しん	HI 法	32 倍以上の陽性	2つの測定方法のうち, いずれかで陽性 (HI 法を推奨)
	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	

血中抗体価の測定は, この表の方法によってください。

発症を防ぐのに十分な血中抗体価は, 測定方法によって異なります。また, **単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。

- * 医療機関を受診する際には, この進学者選考要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。(特に, 抗体検査を受ける場合は, 測定方法と判定基準を確認していただいでください。)

この感染予防措置に関する問い合わせは 神戸大学保健管理センター TEL 078-803-5245
神戸大学学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

9. その他

9-1 修学援助の一環として, 授業料の免除及び奨学金等の制度があります。

9-2 障害のある者等で, 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は, 出願の1か月間前までに教務学生グループ(学生担当)に申し出て相談してください。

事前相談は障害のある者等に本学の現状をあらかじめ知っていただき, 受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので, 障害のある者等の受験や修学を制限するものではありません。

日常生活においてごく普通に使用されている補聴器, 松葉杖, 車椅子等を使用して受験する場合も, 試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので, 事前に相談してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので, できるだけ早い時期に相談してください。

9-3 個人情報について

- (1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 進学者選考に用いた試験成績等の個人情報は, 進学者の選考(出願処理, 選考実施), 合格発表, 進学手続業務及び今後の進学者選考方法の検討資料の作成のために利用します。

- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報、進学者についてのみ進学後の学生支援関係（健康管理、授業料免除及び奨学金申請等）、修学指導等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を守秘義務を課して提供します。

神戸大学大学院海事科学研究科の紹介

1. 海事科学研究科の教育研究の理念

海事科学研究科は、国際的で多様な視点と問題解決能力を持つ創造性豊かな研究者・教育者・高度専門職業人を育成するために、国際的に卓越した教育の提供と優れた研究の推進を基本理念としています。本理念に基づき、海事科学専攻に、グローバル輸送科学、海洋安全システム科学、マリンエンジニアリングの3つのコースを配置し、高度な専門教育の教授と先端研究活動を展開します。これらの教育研究を通じて、海事に関連する社会・産業分野の発展および世界平和や地球環境の保全に貢献する優秀な人材を育成し、科学の探求や新たな技術の創出に尽力します。

2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

海事科学研究科博士課程後期課程では、グローバル輸送科学、海洋安全システム科学、マリンエンジニアリングの各コースにおいて、海事に対する深い理解を育むと共に、国際性、人間性、創造性並びに専門性豊かな指導的人材の養成を目的にしています。このため、各コースの専門分野における修士相当の基礎学力、研究能力、プレゼンテーション技術をもち、独創性や創造性の高い研究課題を自ら設定し、意欲的に取組める人、科学的論理的な思考能力に優れた人、さらに、専門知識の展開によって海事に関連する社会・産業分野や国際活動などへの貢献に強い意欲をもつ人を求めます。

3. 海事科学専攻の内容

海事科学専攻では、つぎの3つのコースで教育研究を行っています。

(1) グローバル輸送科学コース

世界経済のグローバル化に対応し、国際物流の基盤を支える輸送体系の高度化に貢献することを目的として、海上輸送を中心とした陸海空一体の最適な輸送と物流システムの構築を多角的に行うために、船舶運航・管理技術と物流経営・情報解析に関する教育研究を行います。

(2) 海洋安全システム科学コース

理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保に関する教育研究を行います。

(3) マリンエンジニアリングコース

工学に基礎を置き、海や船に関わる産業分野の発展に寄与する新たな学問分野の開拓と技術開発のために、船舶海洋関連システムの開発、設計、管理を行える高度専門技術者及び研究者の養成を目指した教育研究を行います。

4. 博士課程後期課程 教育研究分野，研究内容等及び特定研究担当教員

平成 29 年 4 月 1 日(現在)

コース	教育研究分野	研究内容	特定研究担当教員
グローバル輸送科学コース	航海基盤科学	文理融合している総合科学としての航海マネジメント分野の基盤となる社会科学及び理工学領域について教育研究を行う。	齋藤 勝彦 教授 藤本 昌志 准教授
	海事人的要因科学	地球規模の海上輸送の安全性確保を目標に，ヒューマンファクタの評価・管理及び船・ひと・環境・社会の関連システムの管理運営に関する教育研究を行う。	古莊 雅生 教授*** 世良 亘 准教授 村井 康二 准教授
	航海システム科学	航海及び海洋に関連した計測，航海情報の利用，情報通信システムの開発と運用について教育研究を行う。	河口 信義 教授*** 若林 伸和 教授
	輸送計画科学	陸海空を網羅した国内外の物流交通体系の高度化を目指して，数理的要素を考慮した総合的な輸送計画に関する教育研究を行う。	小谷 通泰 教授* 今井 昭夫 教授** 竹林 幹雄 教授 西村 悦子 准教授
	輸送情報科学	地球規模でのロジスティクスの分野に関連する，輸送及び情報通信システム等の構築・開発，そして計算機科学について教育研究を行う。	田中 直樹 教授 堀口 知也 教授 平山 勝敏 教授
	輸送社会科学	輸送に関わる政策の影響や企業の行動を経済学・経営学の視点から解明し，今後の社会状況の変化に対応した輸送体系の構築に向けた教育研究を行う。	松本 秀暢 准教授

「*」は，平成 30 年 3 月退職予定者を示す。出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

「**」は，平成 32 年 3 月退職予定者を示す。出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

「***」は，平成 33 年 3 月退職予定者を示す。平成 30 年 10 月入学希望者は，出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

コース	教育研究分野	研究内容	特定研究担当教員
海洋安全システム科学コース	水環境学	水環境の生物学的, 化学的, 物理的特性を解析することにより, 海事活動を始めとした人為的活動が沿岸域の水環境に及ぼす影響を評価し, 水環境の汚染防止, 保全及び修復を図るための手法について教育研究を行う。	岡村 秀雄 教授 三村 治夫 教授
	海洋・気象学	海洋学や気象学の知識を応用することにより, 洋上風力資源利用, 大気・海洋環境保全, 海難防止, 津波災害軽減, 地球温暖化問題対策等, 海洋の環境・エネルギー・防災分野の諸問題の解決に資する教育研究を行う。	香西 克俊 教授** 林 美鶴 准教授 大澤 輝夫 准教授 山地 一代 准教授
	海洋安全工学	多様化する海上輸送・海洋利用の観点より, 船舶や海洋構造物の安全性, 洋上環境評価, 省エネ技術, 海洋再生エネルギー, 海底資源等に関する諸問題を対象とした理論・数値解析及び実験的手法に関する教育研究を行う。	笹 健児 准教授 橋本 博公 准教授
	放射線・粒子ビーム科学	光量子やサブアトム粒子, 及びそれらのビームと, ナノスケールの物質・分子・原子・原子核との多様な相互作用の基礎とそれらのエネルギー学や材料科学, 環境科学, ライフサイエンスへの応用に関する教育研究を行う。	小田 啓二 教授*** 古山 雄一 教授 山内 知也 教授 谷池 晃 准教授
	海洋基礎科学	海洋に関する分野全般の基礎となる学問(数学・化学・心理学)を起点として, 海事科学分野への更なる応用展開を図るとともに, 各種問題を解決する為の方法論を含む教育研究を行う。	嶋田 博行 教授* 佐藤 正昭 教授*** 蔵岡 孝治 教授 上田 好寛 准教授 クリスティーナ・ゴメス 准教授

「*」は, 平成 30 年 3 月退職予定者を示す。出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

「**」は, 平成 32 年 3 月退職予定者を示す。出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

「***」は, 平成 33 年 3 月退職予定者を示す。平成 30 年 10 月入学希望者は, 出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

コース	教育研究分野	研究内容	特定研究担当教員
マリンエンジニアリングコース	船舶海洋工学	船舶工学及び海洋工学関連の多様な流動現象，各種構造物や機器などを対象に，流体力学及び材料力学などを主な基礎学問として，流体现象の解明と流動の評価や制御及び各種機械要素や海洋構造物の機能と強度評価などに関する教育研究を行う。	阿部 晃久 教授 宋 明良 教授 西尾 茂 教授 福岡 俊道 教授* 藤本 岳洋 教授 勝井 辰博 准教授
	動力エネルギーシステム工学	船舶の機関システムにおける熱移動等を伴うエネルギー変換や動力の伝達制御は，高い水準の船舶安全航行，海洋環境保全のために重要である。そこで熱工学の基礎的現象の理解とその応用，そして総合的な船舶機関システムの運用における技術的側面の教育研究を行う。	内田 誠 教授 段 智久 教授 福田 勝哉 教授* 藤田 浩嗣 教授 劉 秋生 教授
	電気電子工学	画像処理やモーションコントロールを利用したロボット制御システム技術の開発，様々な機器に対して高効率に電力供給するための新しいパワーエレクトロニクス技術の開発，並びに各種電子機器で利用される新しい機能性電子材料の開発に関する教育研究を行う。	佐俣 博章 教授 三島 智和 准教授 山本 茂広 准教授
	海事数物科学	超伝導・機能材料の物性とその応用，水素エネルギーの生成・貯蔵・輸送に関する基盤技術の開発，並びに生物運動・界面運動の解明等の海洋環境・エネルギー問題の解決を目指す。また，それらを含む工学の基礎としての物理学・数学に関する教育研究を行う。	石井 克幸 教授 武田 実 教授 赤澤 輝彦 准教授 岩本 雄二 准教授

「*」は，平成 30 年 3 月退職予定者を示す。出願前に必ず志望指導教員と相談してください。

コース	教育研究分野	研究内容	特定研究担当教員
☆	地域環境科学	閉鎖海域及び沿岸周辺域における海洋汚染や大気汚染の防止などの地域環境の保全を目指し、海洋空間並びに地域環境の分析と現象のメカニズム解明のための教育研究を行う。	中野 武 客員教授△ 平木 隆年 客員教授△
	海洋環境計測科学	海洋現象とその物理過程を計測するための観測機器と解析処理手法の開発及びそれらを用いた海洋環境の分析と、海洋現象のメカニズム解明のための教育研究を行う。	米山 邦夫 客員教授△ 金谷 有剛 客員教授△

特定研究担当教員欄の「△」は、連携講座に所属する教員を示す。

☆連携講座に所属する教員を志望指導教員とする場合は、**出願前に必ず当該教員と相談してください。**所属するコースについては、当該教員と相談の上、承認を得て「グローバル輸送科学コース」、「海洋安全システム科学コース」、「マリンエンジニアリングコース」の3コースのいずれかを選択してください。